

# 米価下落に 独自支援を提起 目 種子購入助成を予算化



2015年2月22日  
-72号

発行  
日本共産党県議会議員  
渡辺 ゆり子

<連絡先>  
日本共産党県議団執務室  
電話 023-630-3241(受付)  
自宅：山形市青田2-10-5  
電話 023-642-2365

## 飼料用米への転換は?

1月21日閉会中農林水産常任委員会で米政策について取り上げました。

県当局からは今後、主食用米から飼料用米への転換を促す方向について報告や説明がありました。

私は「飼料用米へ転換して農家の経営がこれまで同様維持できるのか」と質しました。

小松伸一県産米ブランド推進課長は、「多収穫品種

## 米価下落に苦しみ 農家に支援を提起

米価下落対策について私は「米価下落で農家所得が落ち込んでいることが報告されたが、自治体単位でも独自支援策を打ち出しているところが出てきている。

県としても農家の生産意欲を失わせないため、支援をすべきだと思うがどうか」と提起しました。

小松課長は、「平成5年の冷害のときに種初購入への助成を県として実施したことがある。」

「他県の状況も見ながら勉強したい」と答えました。他委員からも県の独自支援を求める意見が出されました。

## 県 補正予算で 独自支援

2月13日、予算内示会が開かれ、新年度予算ととも今年度補正予算の内示が議会にありました。その中には、山形県産米生産支援緊急対策事業費3億4312万5千円が盛り込まれています。目的は、26年産の

## ゆり子の 視点

### 福祉灯油実施に喜びの声

県内の日本共産党議員へ福祉灯油実施した。住民の皆さんら切実な要望や声を

に対する県民の声がのちとにも行動で代弁し届ける力を大届いています。「あき、実現できたとき大きくして行かなければと。助かった」の喜びは格別です。ばと決意を新たにしようと電話や声かけが安政政権のくらし福

ります。私自身も社民の住民犠牲、住民国の悪政、安倍政権「通帳に振り込まれ負担増が一層強まるの暴走政治に対決すたところでは、ありてい中、何としてる日本共産党、地方

がとう」といわれまも県議会・市議会が議会で一貫してい

米価下落の影響を踏まえ、水稲種子の購入代金の一部を補助し、稲作農家の27年度産米の作付け意欲の向上を図るとしています。米価

下落で打撃を受けている農家の実態や委員会での提起が補正予算の支援策予算化に反映されたものと思います。

## 県議会 2月定例会開会

県議会2月定例会は、2月20日から3月17日までの会期で開会されます。13日には、新年度予算の内示が行われました。

2015年度の県一般会計予算の規模は6182億6500万円で、前年当初比2.9%増となっています。産業振興と地域再生を

中心とした従来の6本柱と国の「地方創生先行型交付金」を活用した施策を一体のものとして進めていくと

しています。中には、都道府県としては初となる再生可能エネルギーの地産地消を図るため



2月11日憲法改悪反対集会に参加する渡辺ゆり子県議

2.11憲法改悪反対し、それぞれの地域で山形平和集会在開催さ保守の方も含め、多様な人々の参加で広げられる展望を話され、大改憲を阻止する国民的に勇気づけられまし